

MURAYAMA



消防団は地域のヒーローです

# 消防団広報紙



## 新入団員訓練を実施!!

7月10日、令和2年度から4年度まで入団した新入団員約30名が参加し、消防本部訓練場で署員指導による現場活動訓練が行われました。

操法訓練では、小型ポンプの操作から放水まで一通りの訓練を行い、水防訓練では、土のう作りを学びました。

参加者からは、「大変だった」「使命感がでた」「訓練できて良かった」「地域に戻って現場に沿った形でわかるようにしたい」などの感想がありました。

これからも定期的に訓練し、現場で活かせるように頑張ってください。新入団員の皆様、暑い中お疲れ様でした。

消防団！  
アrikamo!?

**消防団員募集中**

消防団員募集要項はこちら  
消防団員募集要項はこちら





# 村山市を守るために普段から訓練や研修をしています!



緊急

## 自動車運転研修

11月6日(日)、第五分団(第八分団)の団員21名が参加し、マツキドライブینگスクール村山校にて、消防ポンプ自動車と軽貨物消防自動車の安全運転講習会が行われました。

適性検査をはじめ、実車講習では、助手席に教習所の指導員が座り、普通走行時や緊急走行する際の違いなど注意点を学びました。教習を受けた団員からは、ポンプ車をより身近に感じることができて、とても貴重な体験になりました。運転の技術や知識を再確認で



き、消防活動はもとより日頃の運転にも活かしていきたいと話していました。安全運転講習はコロナ禍で中止の時期もありましたが、平成24年から毎年一回、団員の交通事故防止と運転技術向上を目的に開催されています。



## 3年ぶり! 消防大演習

4月24日、村山市民会館駐車場で消防大演習が行われました。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりに、規模を縮小しての開催となりました。消防団員、約200人と、ポンプ車などの車両10台が参加しました。団旗入場後、市長の観閲・功勞者の表彰伝達を行いました。講習で児玉進団長が「災害は、いつ起こるかわかりません。常に消防団員としての使命を全うしてほしい」と訓示。消防団員は防災への決意を新たにしました。



年頭のあいさつ

村山市消防団長 児玉進

令和5年の新年を謹んでお慶び申し上げます

まだまだコロナ禍ではありますが、これからはコロナと共存していくことになると思います。昨年は、消防出初式や大演習を縮小して開催しました。今年は、コロナ禍前のように消防行事を行っていきたく思っております。また、市民の皆様には大変ご心配をおかけしていますが、我々消防団は、市民の安全・安心のため活動の充実と地域の防災力向上を胸に、訓練を行い技術の向上に努めてまいりますので、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。この広報誌も二十歳になりました。これからもよろしくお祈り致します。結びになりますが、市民の皆様のご多幸とご活躍を祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。

おだぐの火災警報器 大丈夫だがつす~?

住宅用火災警報器は古くなると部品や電池の寿命により、火災をしっかりと感知出来ないことがあるため点検が必要です。取り替えの目安は10年。住宅用火災警報器はいつ設置しましたか? 10年経っていたら交換をオススメします!!

新たな住宅用火災警報器にボタンタッチしましょう!

## 防災マップを知っていますか?

市役所のHPに防災についての情報が載っています。ぜひ確認してみてください。

## 防災訓練

袖崎地域を会場に村山市防災訓練が行われました。地震発生を想定しての情報伝達訓練や消防団による広報活動を実施しました。10月は防災の日であるため各地区でも防災訓練を実施しております。皆さん積極的にご参加ください。

## 現場活動訓練

5月15日、村山市消防署駐車で消火等の操法訓練、農村環境改善センター会議室で応急手当・心肺蘇生訓練を3年ぶりに行いました。当日は天気にも恵まれ、爽やかな空気の中、元気ではつらつとした訓練となりました。コロナ禍により未実施の期間があり、初参加の方もベテランの方もおりましたが、皆で協力して、緊張感のある中で、動きの確認や技術の習得に努め、とても有意義な時間となりました。災害発生時、地域の皆様安心して生活できるように、心がけて今後とも取り組んでいきます。

# 広報紙のふりかえり



創刊号



歴代の懐かしい  
広報紙をご紹介します。

# 消防団 74 年のあゆみ

- 昭和23年 旧町村に消防団誕生(3月7日)
- 29年 村山市消防団誕生。  
初代消防団長:高宮光弥氏  
6ヶ分団35部、団員1,161名  
7ヶ分団40部、団員1,323名
- 30年 8ヶ分団45部、団員1,500名
- 31年 村山市消防団退団者報償規定を制定  
腕用ポンプに代わる初めての小型動力ポンプ2台購入
- 32年 消防団再編成 8ヶ分団35部、団員定数956名に改める
- 35年 消防団にラップ隊誕生
- 37年 各地区に婦人消防クラブ誕生
- 47年 消防団員にヘルメット支給
- 53年 袖崎五十沢地区が108年間の無火災で表彰を受ける
- 55年 活動性を考え、半長靴を支給
- 57年 市内全域に自主防災組織が結成される(各町内・地区ごと)
- 62年 日本消防協会より表彰旗受賞  
全団員に略帽支給
- 平成 6年 団員定数951名に改める
- 8年 各分団車に消防無線機を装備
- 10年 女性消防団員誕生
- 11年 婦人消防隊全国消防操法大会に出場  
第8位となり、優良賞
- 13年 村山まとい連結成 徳内まつり初舞台
- 15年 団員定数810名に改める  
消防操法審査会が実践に向け水出し操法に切り替わる  
広報誌創刊号発行(11月)
- 16年 全団員に活動服支給
- 25年 全団員にヘルメット支給
- 26年 全団員に防寒雨衣支給
- 28年 全団員に編み上げ靴支給  
消防無線機、デジタルへ切り替え  
全積載車切り替え
- 29年 団旗新調
- 30年 全団員の活動服を更新
- 令和 元年 軽貨物車導入
- 3年 団員定数732名に改める
- 4年 消防団員報酬改正し処遇改善を図る  
全団員に雨衣支給  
団員685名、うち女性消防団員26名(令和4年4月1日現在)



## 《編集委員》

- 委員長 永本 齋石 青細 小高 伊豆 永土 川黒
- 岡間 藤川 木谷 野橋 倉岡 田崎 沼
- 美由紀 (7分団)  
美穂 (1分団)  
里美 (3分団)  
みずぎ (4分団)  
恵美 (5分団)  
菜津美 (6分団)  
智子 ( // )  
育子 ( // )  
美穂子 ( // )  
智美 (7分団)  
織 ( // )  
尋 梢 (8分団)

**編集後記**

今年度は、コロナ禍になって、四年目に突入しました。  
昨年度までは、活動も制限され、大演習や訓練など様々なことが中止されてきました。そのため、活動内容も少なく広報誌の中身も限られた内容で作成するしかありませんでした。  
今年度は少しずつ活動が緩和され、広報誌の内容も大変濃いものになりました。  
今後も様々な情報、活動をお伝えしてまいりますので、ご支援とご協力をお願いします。  
最後に、毎年自然災害も多発してありますが、雪おろしの際にはくれぐれもお気を付けてくださいますようお願い致します。

村山市消防団  
**消防団員  
募集中です!**

私たちといっしょに  
活動してみませんか?

広報で防災の呼びかけ、応急手当訓練など皆様の安全を願い活動しています。



求む!